

九重山

○概 況

火山活動に大きな変化は認められず、引き続き静かな状態でした。

○噴煙活動の状況

噴煙は白色・少量、噴煙高度の最高は 600m(4 月:800m)で、特に異常は認められませんでした(図 1、図 2)。

○地震・微動活動の状況

地震の回数は 29 回(4 月:66 回)で、これらの震源は、主に久住山の北西 5 ~ 8 km(図 3)で、火山活動には直接関係ないものと思われます。

火山性微動の発生はありませんでした。

○地殻変動活動の状況

GPS による地殻変動観測では、長者原 - 牧ノ戸峠、長者原 - 坊ガツル、牧ノ戸峠 - 坊ガツルの各観測点間の基線長には、火山活動に起因する変化はありませんでした(図 4)。

○噴気地帯の状況

5 月 11 日の火山機動調査観測によると、1995 年 10 月にできた D 領域 c 列火孔の噴気は見られず熱の高温域はありませんでした。D 領域で噴気が見られるのは、b 列火孔だけとなっていました(図 5、図 6)。

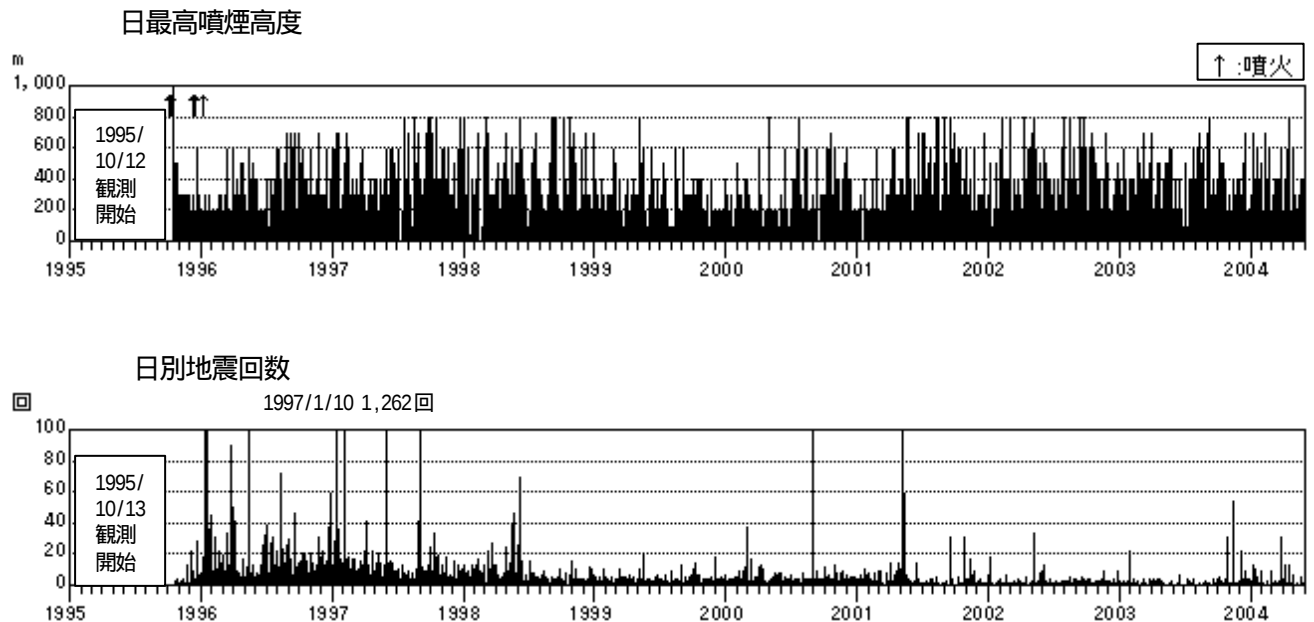


図 1 火山活動経過図(1995 年 10 月 12 日 ~ 2004 年 5 月 31 日)

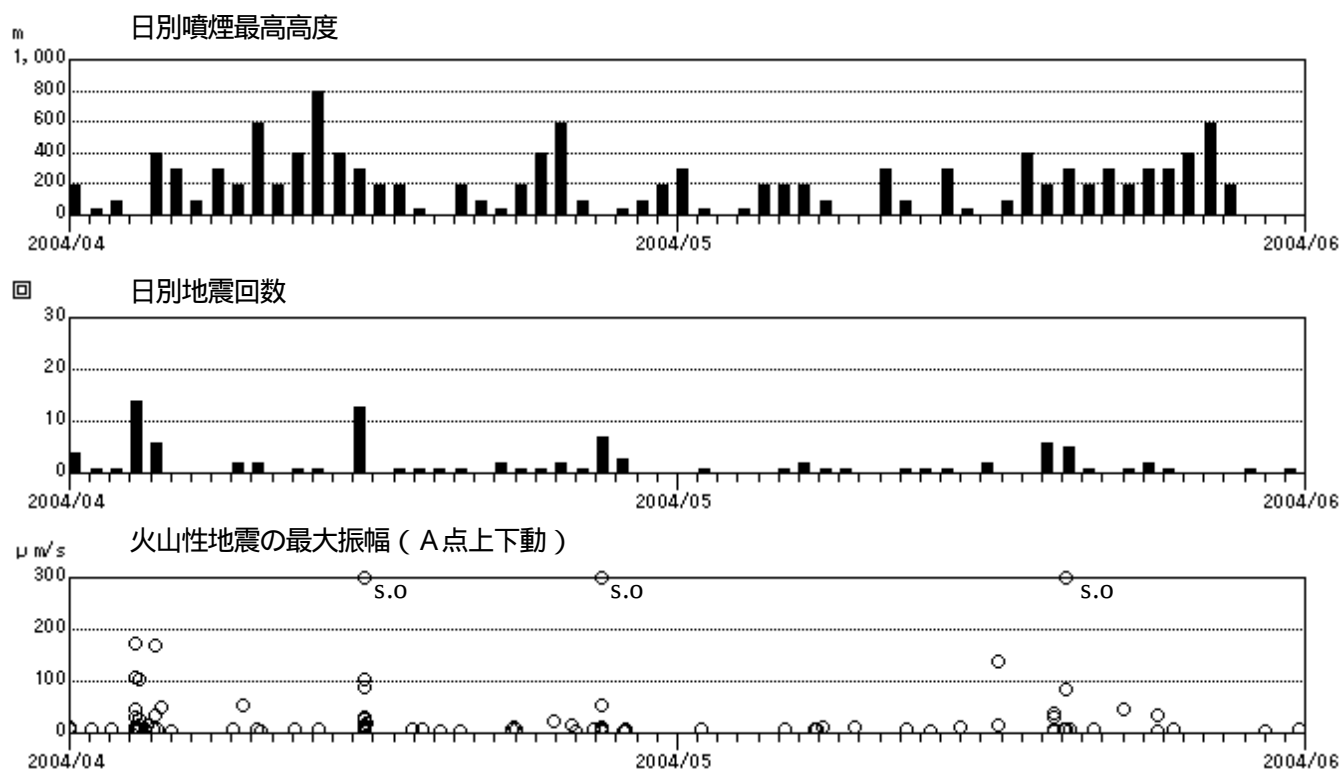


図2 火山活動経過図 (2004 年 4 月 1 日 ~ 5 月 31 日)

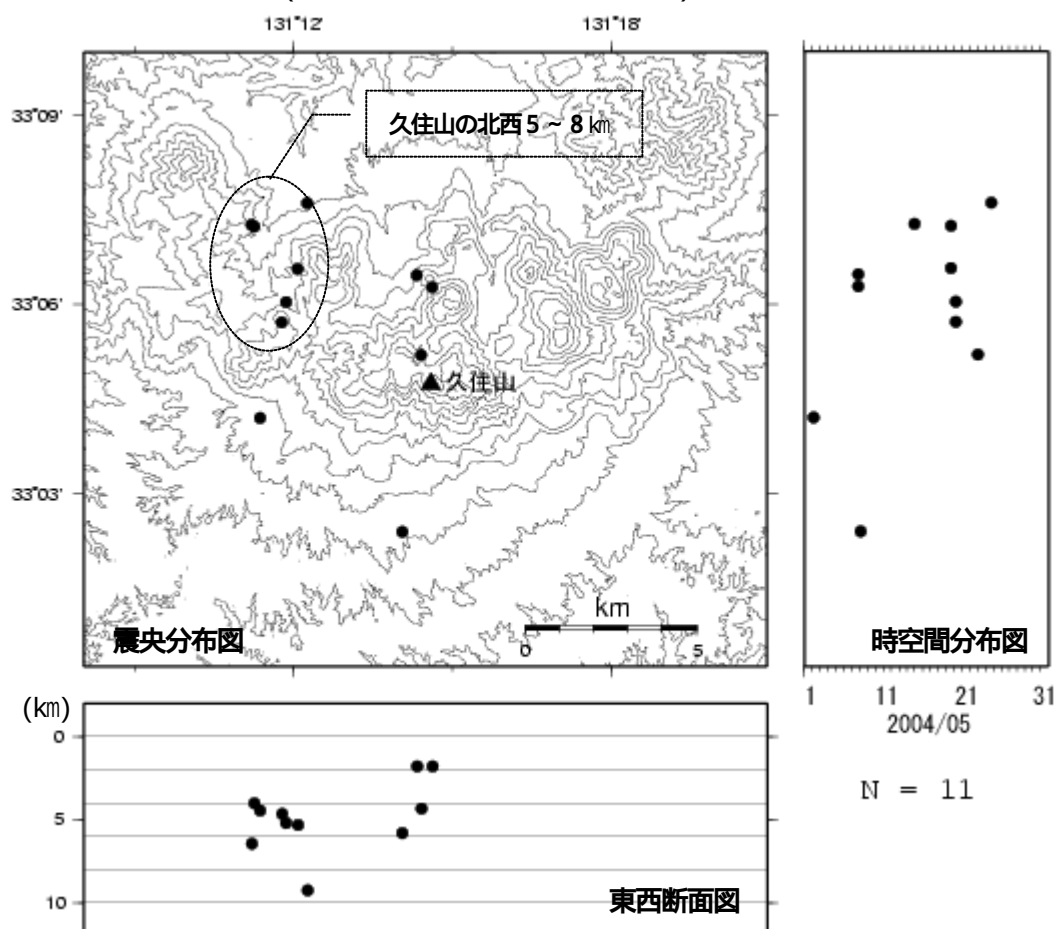


図3 火山性地震の震央分布図と東西断面図、時空間分布図 (2004 年 5 月 1 ~ 31 日)
(本資料は、独立行政法人防災科学技術研究所、気象庁のデータを用いて作成している。)

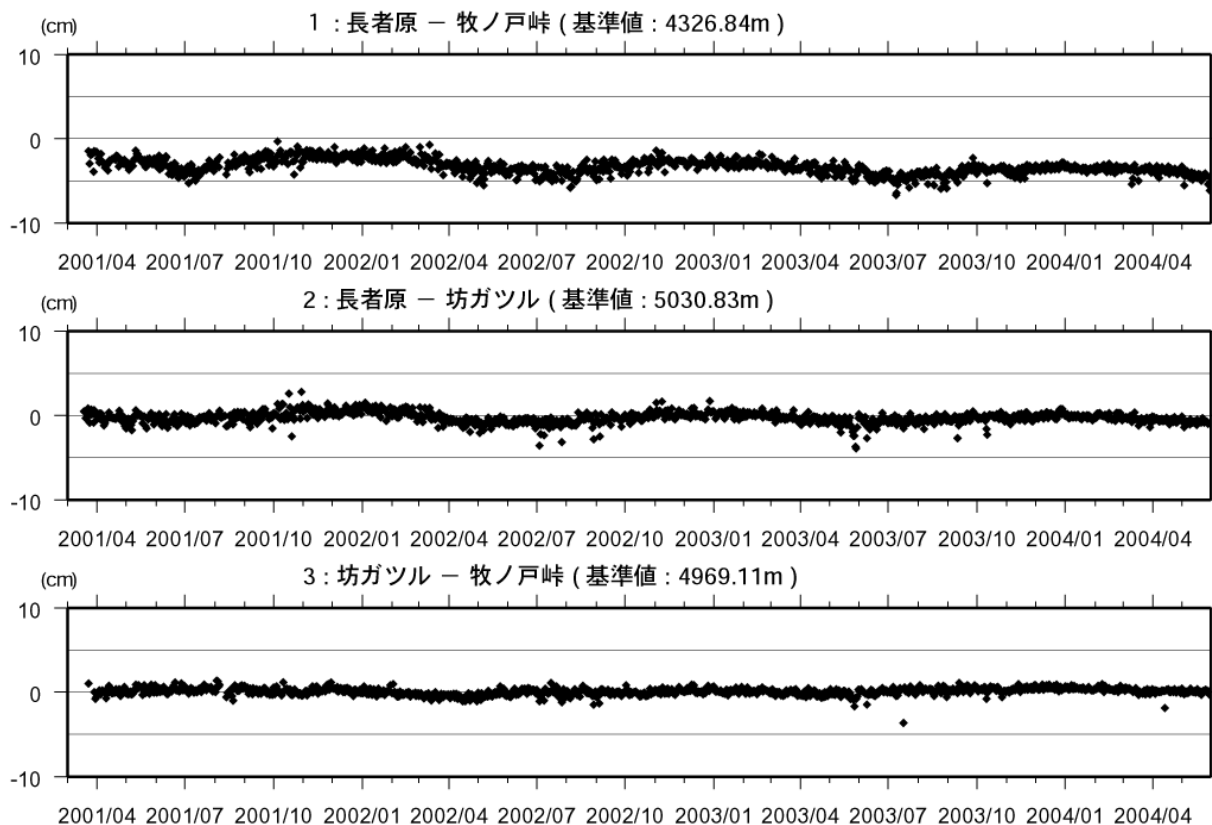


図4 GPSによる基線長変化図(2001年3月22日～2004年5月31日)



図5 北千里浜2定点から撮影したD領域の写真(2004年5月11日)

* 前回2003年12月2日の観測ではD領域c列火孔から約10mの白色の噴気が見られていたが、今回は見られなかった。

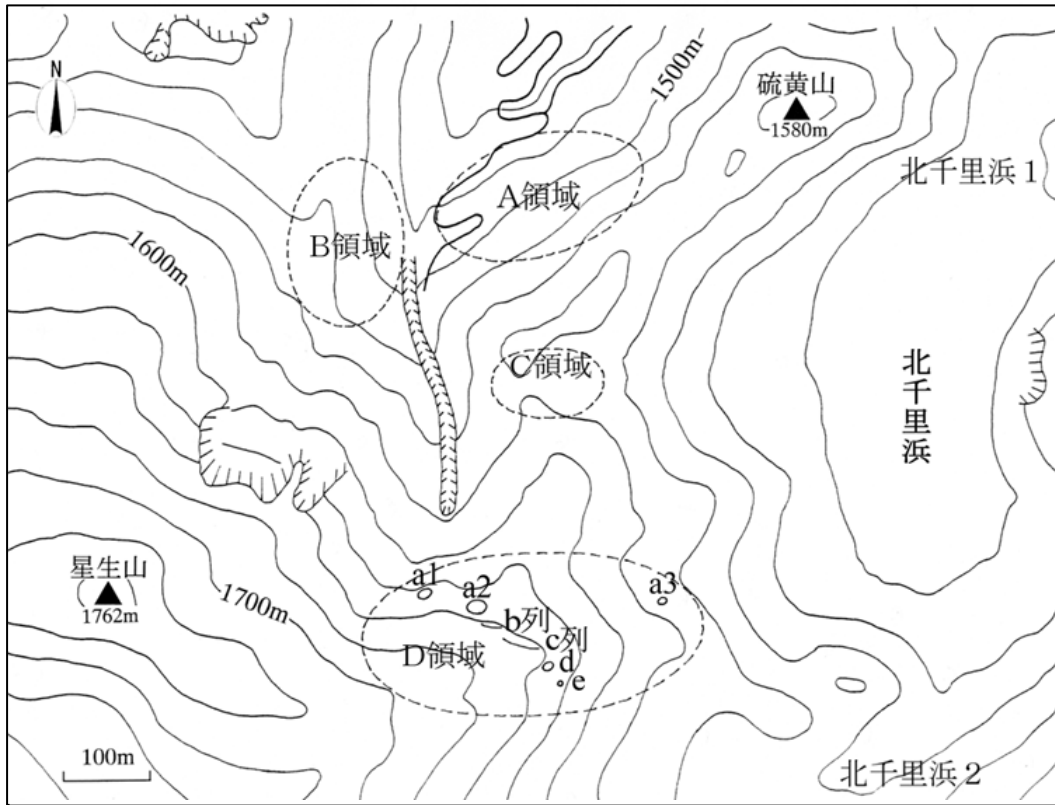
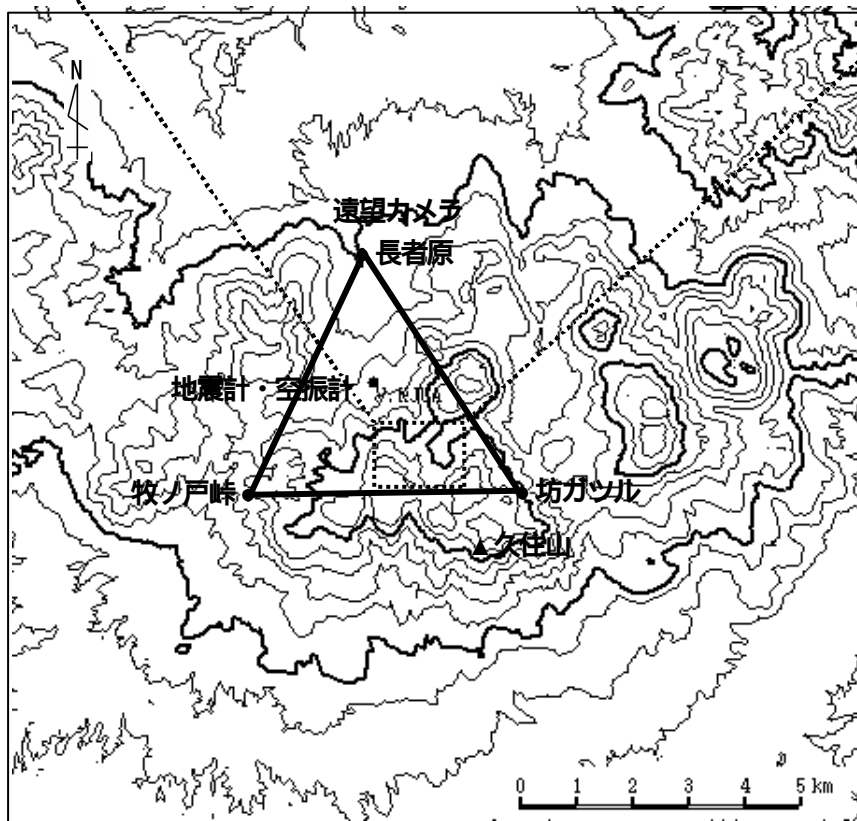


図6 噴気地帯の位置図



- 気象庁観測点
- 遠望カメラ 1 点(長者原)
 - 地震計 1 点()
 - 空振計 1 点()
 - GPS 3 点(●)

図7 観測点位置図